

社会福祉法人 黒松内つくし園 老人福祉施設

慶和園



コロナを吹き飛ばせ！ 鬼は外・福は内！ 節分企画

2月2日、慶和園では節分企画を開催。例年「サロンえがお」の行事としてボランティアなど地域の皆様と一緒に楽しんできました「節分の豆まき」ですが、今年は新型コロナウイルスの影響でこれまで通りの開催は難しくなりました。そこで、今回はボランティアの皆様から「応援メッセージ」のビデオレターをいただき、ご利用者の皆さんと楽しんだ他、地域の方から寄贈された鬼の手芸品をお手紙と共に紹介。直接お会いできなくても心温まる「つながり」を感じられた節分となりました。会の最後は、町内会長、顧問を始め、年男・年女のご利用者による豆まき。「福は内！鬼は外！」威勢の良い掛け声に、この勢いで一日でも早くコロナが終息してほしいと願いました。



きょうごく&しりべつユニット

それぞれの 新年会

めいすい&せせらぎユニット

きょうごく、しりべつユニットでは、1月18日に新年会と誕生会を行いました。昨年に引き続き色々な行事が自粛される中、ご利用者に新年を迎えたという雰囲気を楽しんでいただきたい、また、同じ空間で生活されている方の誕生日を共にお祝いしていただきたいとの思いの中、準備してきました。当日は茶話会の形で開催しましたが、普段とは違うひとときを楽しんでいただけたようでした。

また、新年会ということもあり、おみくじを模したゲームを行い「あっ大吉だ」「私は小吉。あんた良い事あるよ」などご利用者同士の会話を聞かされました。さらに誕生会では、4名の方が該当。その中では103歳を迎えた方もいらっしゃいました。共に笑い、楽しい日々を過ごしていただける様、今年も取り組んでいきたいと思います。



『慶和園だより』NO.241 令和3年2月10日発行

〒044-0132 虹田郡京極町字更進780番地1

TEL(0136)42-2201 FAX(0136)42-2209

編集発行：老人福祉施設 慶和園 広報委員会

*「慶和園」だよりに掲載の個人情報は、ご本人もしくは、ご家族様の許可を得て使用させて頂いております。

令和3年1月15日金曜日の午後14時～15時の1時間、新館せせらぎ・めいすいユニット合同企画の新年会を行いました。せせらぎユニットご利用者様9名と、めいすいユニットご利用者様6名及び職員6名で新しい年を祝い、ジュースを飲んだりお菓子を食べたり、お菓子のつかみ取りゲームやご利用者の大好きなカラオケ大会で盛り上りました。都はるみの「好きになった人」や伍代夏子の「忍ぶ雨」など十八番が熱唱されると、自ずと笑顔と手拍子で、大変遊戯な時間となりました。



-慶和園運営方針-

・慶和園はひとつ。ご利用者・職員で慶(喜)びの和を大切にします。

－私たちは、チームでご利用者の想いを実現させます－

・慶和園は一人ひとりを大切にします。

－私たちは、自分以外の全ての人に真心をもって親切丁寧に接します。

・慶和園は地域とのつながりを大切にします。

－私たちは、地域における役割を理解し信頼を得られる行動をとります。

介護用品 知って 快適生活!!

日本人にとって食事に欠かせない道具として箸があります。しかし、加齢や障害によっては、上手く使えないといった事象も出てきます。「長年、食事の際に何気なく使ってきましたが使えないこと」に悲しみを覚えつつ、箸にかわるものを考えたとき「スプーン」の存在があります。

そこで今回は、介護用品の中で様々な用途に応じたスプーンをご紹介していきたいと思います。

一番美味しい食事のポイントは、やはり「自分で食べられること」個人個人の状態に合わせた道具を使って日々の食事をぞんぶんに楽しみましょう!!

※今回ご紹介したものは一部であり、メーカーによっては様々な機能が備わったものがあります。

※写真はイメージとして掲載しています。

新任職員にQ&A

せせらぎユニット

ふんどう けいた

分銅恵汰 介護員

☆簡単なプロフィールを
ずっと京極で育ってきました。現在20歳で6人家族の長男です。

Q 趣味は?

A:友達と出かけることです。自宅にいる日は基本的にゲームばかりしています。あまり大きな声では言えませんがパチンコも好きです。

Q 座右の銘(好きな言葉)は?

A:俺が諦めるのを諦めろ(アニメNARUTOより)

Q 好きなアイドル、アーティストは?

A:ヨルシカが好きです

Q 介護の仕事をはじめたきっかけは?

A:中学生のときによく慶和園のボランティアに参加していてその時に福祉の仕事に興味を持ちました。そして昨年の9月に慶和園での研修を経て介護を体験したことがきっかけです。

Q 人生で一番幸せだった事は? A:高校で過ごしていた時間が一番幸せだったかもしれません。

Q 最後に一言 元々、障害者施設で仕事をしていて介護は、からっきしなのでここで1から学ばせてもらっています。障害者施設で学んだ経験もどこかで役に立つはずなのでそこを活かしながら頑張っていきたいと思っているのでこれからよろしくお願いします。



【2021年2月8日~2021年3月15日の行事予定】

【2月】

- 8日 出張理容(サロンドシエル)
- 9日 料理サークル
- 16日 出張理容(竹山美容室)
- 19日 活花サークル

【3月】

- 8日 出張理容(サロンドシエル)
- 15日 出張理容(竹山美容室)

●一般的に使用される 「先割れスプーン」

(すくう)と(刺す)ことが出来る二刀流スプーンです。古くから使用されている馴染み深い形状のものです。現在は金属の物の他プラスチックなどもあります。

●形状をひとひねり 「曲がるスプーン」

腕の上りが難しく、口元に運ぶ際にこぼれてしまうといった方に適しています。その時の体調によって様々な形に調整することが出来る臨機応変スプーンです。

●ナイスアイディア 「箸&スプーン」

トングの様に開閉することで箸のように挟むことが出来、握ったまま使用するとスプーンにもなるオールマイティーな道具です。握力に支障の無い方、おすすめです。

書道サークル “新年の書初め” を開催しました

令和3年初めての書道サークルが1月29日に行われました。唯木紀子先生が事前に届けて下さいましたお手本を見ながら精一杯書かれていました。今回は、先生が

色紙を用意して下さり、一字の書初めとなりました。「こんなすごい紙に書くの。失敗できないね」と言いながら見事な筆さばきで、書き終えました。メンバーからは「先生が来ないと、書く気にならない」と言われる方も居ました。早くコロナウィルスが終息し、先生をはじめ、ボランティアの皆さんと、和気あいあいとした書道サークルを行えたらと思います。



【ご厚志に感謝いたします。】

1月1日~31日分 《敬称略》 順不同

【寄付品】 北海道施設管理(株)(京極町)-京極南郵便局(同)-サロンドシエル(同)-中村二郎(同)-山内志津子(同)-永江涼子(同)-佐藤元子(俱知安町)-佐藤修一(同)-日本ガード(札幌市)-中井聖建設(同)-社会福祉法人 追分あけぼの会 村上典隆(安平町)

以上

～相手の心を想う～ 副施設長のつぶやき

ある施設の広報誌に「重度の認知症」ではなく「認知症が深い」と書いてありました。使う言葉によって捉え方や考え方、人に対する姿勢までも変わってくると思います。「これでいい」いや「これがいい」。自分自身を律するためにも言葉を大切に使うよう心掛けていきたいです。

副施設長 山中幸代